

No. 12-3

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No.		12 - 3		
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需	公的関与	9	
作成日	26年 6月 16日			
事務事業名	農産物加工処理センター事務		シート作成部署	
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち	課名 産業課 係名 産業振興係	
		5-1 働きがいのあるまちをつくる		シート作成者
	施策	5-1-1 農業の振興	予算費目	会計 一般
				款 6
主要施策	③ 地域特産物の開発	項 1		
		目 3		
個別計画名				
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）		
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）	
	住民		農産物の加工を通し、消費拡大を図り地産地消を進める。	
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）			
広報及びケーブルテレビを通し、「自家用みそづくり講習会」の実践を行うことにより、施設利用促進及び地域への普及啓発を図ります。また、平成24年度からの継続事業として、食と農を両立する「食農推進事業」の取り組みを行い、施設利用の充実並びに地産地消の拡大を図ります。				
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		東員町農産物加工処理センター利用管理規則		
		平成24年度（決算）	平成25年度（決算）	
		平成26年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		404	365	
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他特定財源	0	0	
	一般財源	206	167	
直接事業費（千円）A		206	167	
人件費（千円）B		198	198	
内訳	一般職員（人・千円）	0.03 人 198	0.03 人 198	
	臨時職員（人・千円）	人 0	人 0	
成果指標	成果指標名		単位	
			25年度	
			26年度	
			27年度	
	① 講習会参加人数(自家用みそづくり)	人	目標 30 実績 22 (目標) 30 (目標) 30	
	②			
	③			
	説明 募集定員数を指標としています。			

事業名	農産物加工処理センター事務	シート作成課	産業課
-----	---------------	--------	-----

一次評価者	産業課長	二次評価者	建設部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設の利用により、町内産農産物の消費拡大に貢献しています。
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設を利用しての事業については、参加者から高い評価を得ています。
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	食農推進事業が加わり、利用頻度は向上しています。今後も施設の有効活用に努めます。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設の利用率は向上しています。	

本事務事業の実施適切性の説明

農産物の消費拡大には有効な施設ではありますが、施設規模等から少人数での事業に限定されることが課題であります。事業推進としては、農産物の消費拡大及び加工実習の普及を図るため、「自家用みそづくり講習会」をはじめ、平成24年度から「食農推進事業」の取り組みを行い、地産地消の拡大を図っています。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
今後の改革・改善目標	毎年開催している「自家用みそづくり講習会」に加え、平成24年度から食と農を両立する「食農推進事業」の取り組みを実施しています。今後は、農業者自らが農産物の加工を通じて、商品化への開発・研究及び販売促進、付加価値の高い農産物の生産振興を図るシステムを構築するなど、農業生産者の経営安定も併せて図る必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
コメント	安全・安心な農産物加工品を生み出す場として幅広く活用されることが重要です。今後は、地元生産者の確保や地域農業の維持・発展など、地産地消の効果を上げる施策を早急に構築して実践する必要があります。また、施設の老朽化対策は近い将来に要すことと思われます。						

二次評価に対する課の考え方

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	4	住民（利用者）も運営等に参画していく
------------	------	----	------	---	--------------------